

# 2022年度 アメリカ学会清水博賞 受賞記念研究会

今年度のアメリカ学会清水博賞受賞作『ドイツ統一とアメリカ外交』（晃洋書房、2021年）の著者である吉留公太氏を招き、英米関係史や国際政治史を専門とする水本義彦氏、スウェーデン政治外交史や国際政治史専門とする清水謙氏とともに、吉留氏の著書について議論、討論を行い、その後司会とフロアを交えた質疑応答を行なう。

司会：佐々木 卓也（立教大学法学部教授・アメリカ研究所副所長）

講 師

吉留 公太

（神奈川大学経営学部教授）



2006年リーズ大学大学院政治国際学研究所博士課程修了。神奈川大学経営学部助教、准教授、ジョージタウン大学客員研究員などを経て現職。専門は、国際関係論、外交史。共著に『危機の国際政治史—1873-2012』（亜紀書房、2013年）がある。『ドイツ統一とアメリカ外交』（晃洋書房、2021年）で2022年度アメリカ学会清水博賞を受賞。

討 論

水本義彦

（獨協大学外国語学部准教授）

2002年キール大学大学院博士課程修了。二松學舎大學国際政治経済学准教授などを経て現職。専門は、ベトナム戦争、英米関係史、国際政治史。著書に『同盟の相剋—戦後インドシナ紛争をめぐる英米関係』（千倉書房、2009年）があるほか、分担執筆として、青野利彦・倉科一希・宮田伊知郎編『現代アメリカ政治外交史—「アメリカの世紀」から「アメリカ第一主義」まで』（ミネルヴァ書房、2020年）、君塚直隆・細谷雄一・永野隆行編『イギリスとアメリカ—世界秩序を築いた四百年』（勁草書房、2016年）などがある。

清水 謙

（法学部兼任講師・グローバル都市研究所特任研究員）

2017年東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。立教大学法学部助教を経て現職。専門は、スウェーデン政治外交史、国際政治学。分担執筆として「スウェーデンにおける移民・難民の法説と排除—スウェーデン民主党的中道政変をめぐる」宮島高・佐藤成基編『包摂・強制の政治か、排除の政治か—移民・難民と向き合うヨーロッパ』（明石書店、2019年）、「スウェーデン政治外交史からの「大統領制化」の検討—バレン「大統領」の誕生」岩崎正洋編著『大統領制化の比較政治学』（ミネルヴァ書房、2019年）などがある。

2022年 **12月10日**（土）14:00～16:00  
オンライン開催（Zoom ウェビナー）



右記のQRコードかURLからお申し込みください。 <http://s.rikkyo.ac.jp/5335e78>

お問合せ：立教大学アメリカ研究所（E-mail:ramins@rikkyo.ac.jp Tel:03-3985-2633）